



平成 29 年 9 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 29 年 8 月 7 日

上場会社名 株式会社ユーグレナ 上場取引所 東
 コード番号 2931 URL <http://www.euglena.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 出雲 充
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 財務・経営戦略担当 (氏名) 永田 暁彦 (TEL) 03 (3454) 4907
 四半期報告書提出予定日 平成 29 年 8 月 10 日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 29 年 9 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 28 年 10 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29 年 9 月期第 3 四半期	10,231	25.1	420	△47.8	615	△39.7	424	△43.5
28 年 9 月期第 3 四半期	8,181	98.4	805	149.1	1,019	98.6	751	133.9

(注) 包括利益 29 年 9 月期第 3 四半期 424 百万円 (△40.9%) 28 年 9 月期第 3 四半期 717 百万円 (117.7%)

	1 株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
29 年 9 月期第 3 四半期	5	12	5	09
28 年 9 月期第 3 四半期	9	14	8	99

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29 年 9 月期第 3 四半期	18,446	15,293	82.7
28 年 9 月期	15,526	13,422	86.3

(参考) 自己資本 29 年 9 月期第 3 四半期 15,263 百万円 28 年 9 月期 13,392 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計	
	円	銭	円	銭	円	銭
28 年 9 月期	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00
29 年 9 月期	—	0.00	—	—	—	—
29 年 9 月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成 29 年 9 月期の連結業績予想 (平成 28 年 10 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	15,000	35.1	820	18.2	1,100	16.5	690	2.5	8.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

29年9月期3Q	84,389,616株	28年9月期	82,627,216株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

29年9月期3Q	137,901株	28年9月期	137,901株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

29年9月期3Q	82,953,107株	28年9月期3Q	82,394,961株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成28年10月1日～平成29年6月30日）におけるわが国の経済は、企業業績の改善、雇用情勢の改善がみられ景気は緩やかな回復基調で推移しておりますが、欧州諸国の政治情勢や米国の政策転換の影響などにより、依然として先行きが不透明な状況です。

当社グループの主力事業であるヘルスケア業界は、高齢社会の進展とともに、中高年齢層を中心とした健康維持・増進、美容・アンチエイジング、エイジングケアへの高い意識を背景に、特に通信販売を中心に市場規模を拡大しております。一方、参入企業の増加により企業間の競争は厳しさを増しております。

このような事業環境のもと、当社グループでは、ヘルスケア製品の販売を積極的に推進するとともに、ユーグレナを利用したバイオ燃料の開発、ユーグレナの食品としての新機能的な解明、低コスト化へ向けたユーグレナ自体の改良技術に関する研究開発を行っております。

当第3四半期連結累計期間は、主にOEM商品及び自社化粧品の販売が順調に推移し、売上高は10,231,711千円（前年同期比25.1%増）となり、自社化粧品の定期顧客獲得のための広告宣伝活動を拡大した結果、営業利益は420,626千円（同47.8%減）、経常利益は615,210千円（同39.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は424,480千円（同43.5%減）となりました。

なお、前第3四半期連結会計期間から当第3四半期連結会計期間までの各四半期の業績推移は、以下のとおりです。

	前第3四半期 連結会計期間	前第4四半期 連結会計期間	当第1四半期 連結会計期間	当第2四半期 連結会計期間	当第3四半期 連結会計期間
売上高（千円）	2,951,940	2,921,281	3,273,006	3,355,294	3,603,410
営業損益（千円）	351,565	△111,896	278,294	△1,159	143,491
経常損益（千円）	476,448	△75,169	302,338	143,922	168,949

セグメント別の状況については、以下のとおりです。

(ヘルスケア事業)

ヘルスケア事業の食品分野においては、主にOEM商品の販売が順調に推移いたしました。また、自社製品の定期購入顧客拡大のための販売体制を強化するとともに、グループ会社間で物流センター等のインフラを共有するなど、販売コストの削減に努めました。さらに、当第3四半期連結累計期間において、顧客基盤の拡大と、クロレラ製品の製造委託や統合によるコスト削減等を目的として、クロレラ製造販売会社である株式会社クロレラサプライを完全子会社化しております。

ヘルスケア事業の化粧品分野においては、自社のスキンケア化粧品ブランド「one」の販売が好調であることから、同ブランドの販売体制を強化しております。

ヘルスケア事業の海外展開においては中国上海市の上海悠緑那生物科技有限公司において、中国市場における「ユーグレナ」食品市場の創設に向けて主にOEM供給を中心に取引先の拡大に努めました。

ヘルスケア事業の研究開発においては、ユーグレナの食品としての機能の解明を進めております。また、ユーグレナの特有の成分であるパラミロンを継続摂取することにより、肝硬変や肝臓がんの発症につながる恐れがある非アルコール性脂肪性肝炎による肝臓の線維化を抑制することを示唆する研究成果を公表しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間は、連結売上高10,226,711千円（前年同期比25.0%増）、セグメント利益は1,108,012千円（同24.0%減）となりました。

(エネルギー・環境事業)

エネルギー・環境事業においては、バイオジェット燃料開発を中心に研究開発活動を継続しており、国土交通省の「下水道革新的技術実証事業（B-DASHプロジェクト）」の委託事業に係る研究開発を進捗させました。

当第3四半期累計期間においては、経済産業省資源エネルギー庁の「微細藻類燃料生産実証事業費補助金」を活用し、燃料用微細藻類培養プールを多気クリスタルタウン（三重県多気郡多気町）に建設し、燃料用微細藻類の大規模、低コスト生産技術の確立を目指す研究開発活動を開始しました。また、千代田化工建設株式会社との間でバイオジェット・ディーゼル燃料製造実証プラントの設計・調達・建設に関する工事等請負契約を締結し、国産バイオジェット・ディーゼル燃料の実用化に向けた設備投資を進めております。

以上の結果、主にバイオジェット燃料開発を目的とした研究開発活動により、連結売上高5,000千円（前年同期比114.6%増）、セグメント損失は210,020千円（前年同四半期はセグメント損失161,372千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は18,446,199千円となり、前連結会計年度末と比較して2,920,193千円の増加となりました。これは主に、新規連結子会社の株式会社クロレラサプライ及びヘルスン株式会社の資産の受入及びのれん544,999千円の計上によるものであります。

負債は、借入金が増加したこと等により、前連結会計年度末から1,049,582千円増加し、3,152,858千円となりました。

純資産は、前連結会計年度末から1,870,611千円増加し、15,293,340千円となりました。この結果、自己資本比率は82.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間については、売上高、営業利益、経常利益ともに計画通りに進捗しております。

平成28年11月9日「平成28年9月期決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表しました通期連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,799,181	7,883,529
受取手形及び売掛金	1,059,042	1,244,968
有価証券	2,404,967	400,812
商品及び製品	577,447	1,108,212
仕掛品	5,462	92,018
原材料及び貯蔵品	268,867	412,298
繰延税金資産	119,929	161,441
その他	123,420	266,442
貸倒引当金	△3,415	△14,066
流動資産合計	11,354,902	11,555,657
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	877,061	1,659,921
機械装置及び運搬具	362,061	1,013,688
工具、器具及び備品	186,352	290,039
土地	929,988	900,520
リース資産	32,455	32,455
建設仮勘定	896,071	2,377,216
減価償却累計額	△811,663	△1,497,312
有形固定資産合計	2,472,327	4,776,529
無形固定資産		
のれん	730,301	1,202,189
その他	507,321	476,587
無形固定資産合計	1,237,623	1,678,777
投資その他の資産		
投資有価証券	289,342	109,478
差入保証金	72,796	223,073
繰延税金資産	48,973	48,011
その他	50,039	54,672
投資その他の資産合計	461,152	435,235
固定資産合計	4,171,103	6,890,542
資産合計	15,526,005	18,446,199

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	247,521	342,038
短期借入金	12,651	146,647
未払金	983,171	762,855
リース債務	4,110	2,435
未払法人税等	233,848	110,059
賞与引当金	17,520	27,748
資産除去債務	-	19,663
その他	112,822	158,212
流動負債合計	1,611,645	1,569,660
固定負債		
長期借入金	59,468	1,205,034
リース債務	3,825	2,283
退職給付に係る負債	10,069	8,402
資産除去債務	49,363	29,778
繰延税金負債	368,905	334,131
その他	-	3,568
固定負債合計	491,630	1,583,198
負債合計	2,103,276	3,152,858
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,862,520	5,424,242
資本剰余金	6,685,910	7,568,557
利益剰余金	2,090,961	2,515,441
自己株式	△231,396	△231,396
株主資本合計	13,407,995	15,276,845
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△213	△269
為替換算調整勘定	△15,608	△13,053
その他の包括利益累計額合計	△15,822	△13,323
新株予約権	15,360	17,232
非支配株主持分	15,196	12,585
純資産合計	13,422,729	15,293,340
負債純資産合計	15,526,005	18,446,199

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)
売上高	8,181,948	10,231,711
売上原価	2,190,156	2,640,650
売上総利益	5,991,792	7,591,061
販売費及び一般管理費	5,185,941	7,170,435
営業利益	805,851	420,626
営業外収益		
受取利息	22,190	15,600
助成金収入	133,503	127,091
受取手数料	24,057	23,010
持分法による投資利益	20,419	19,293
その他	17,659	19,517
営業外収益合計	217,830	204,513
営業外費用		
支払利息	1,913	2,325
株式交付費	387	6,964
為替差損	1,173	—
その他	531	640
営業外費用合計	4,005	9,929
経常利益	1,019,675	615,210
特別利益		
新株予約権戻入益	54	—
特別利益合計	54	—
特別損失		
固定資産売却損	—	1,699
特別損失合計	—	1,699
税金等調整前四半期純利益	1,019,729	613,511
法人税、住民税及び事業税	401,129	245,592
法人税等調整額	△115,156	△53,180
法人税等合計	285,972	192,412
四半期純利益	733,757	421,098
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△18,047	△3,381
親会社株主に帰属する四半期純利益	751,804	424,480

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	733,757	421,098
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	60	△55
為替換算調整勘定	△16,350	3,326
その他の包括利益合計	△16,289	3,270
四半期包括利益	717,467	424,369
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	740,624	426,979
非支配株主に係る四半期包括利益	△23,157	△2,610

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年6月1日付で、株式交換に伴う新株発行により資本準備金が320,925千円増加しました。また、平成29年6月9日付で、第三者割当増資により資本金が550,022千円、資本準備金が550,022千円増加しました。この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が5,424,242千円、資本準備金が7,568,557千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年10月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	ヘルスケア事業	エネルギー・ 環境事業			
売上高					
外部顧客への売上高	8,179,618	2,330	8,181,948	—	8,181,948
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,179,618	2,330	8,181,948	—	8,181,948
セグメント利益又は損失(△)	1,458,849	△161,372	1,297,477	△491,626	805,851

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△491,626千円は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

ヘルスケア事業において、前連結会計年度に株式会社ユーグレナ・アート、及び株式会社エポラの株式取得にともない暫定的に算出されたのれん1,123,544千円を計上していましたが、取得原価の配分が完了し、841,942千円に変動しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年10月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	ヘルスケア事業	エネルギー・ 環境事業			
売上高					
外部顧客への売上高	10,226,711	5,000	10,231,711	—	10,231,711
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,226,711	5,000	10,231,711	—	10,231,711
セグメント利益又は損失(△)	1,108,012	△210,020	897,992	△477,365	420,626

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△477,365千円は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

ヘルスケア事業において、株式会社クロレラサプライを平成28年12月1日付で子会社化したことにより、のれんが255,760千円増加しております。また、ヘルスン株式会社を平成29年6月1日付で子会社化したことにより、のれんが289,238千円増加しております。